

「松江市地域防災計画（案）」に対するパブリックコメント（意見募集）の結果及び意見に対する市の考え方について

資料 2

1. 意見募集の結果について

意見募集期間	令和7年12月5日（金）～ 令和8年1月7日（水）
資料公開場所	市ホームページ、本庁行政資料コーナー、各支所
意見提出者数	1名
意見総数	5件

2. ご意見とご意見に対する市の考えについて

No	いただいたご意見	市の考え方（案）
1	<p>◆原子力災害対策編</p> <p>SDGsを加筆されています。松江市はSDGs未来都市を掲げているので、住み続けられる町を考えたときに、原発は事故が起きた際戻れなくなる可能性があるところから、矛盾があるのではないかと思うがどうでしょうか。</p>	<p>SDGsのゴール11・ターゲットbにおいて、「仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。」とあり、仙台防災枠組2015-2030は原子力災害を対象となる災害リスクに位置付けています。よって、地域防災計画を策定し、総合的かつ計画的な原子力防災業務を遂行することはSDGsのゴール11・ターゲットbの達成に貢献するものと考えています。</p> <p>また、本計画に基づき、市民等に対する原子力防災に関する広報や防災意識の啓発、訓練等を実施することで自治体等の行政機関だけでなく、市民や各種団体との連携による原子力防災対策を図ることによりSDGsのゴール17・ターゲット17の達成に貢献できると考えています。</p> <p>なお、国が策定する「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、地方自治体の役割として、「様々な計画にSDGsの要素を反映することが期待されている」と掲げられており、また、「松江市SDGs未来都市計画」においても、（1）自治体SDGsの推進に資するための各種計画への反映を掲げているため、今回の改正に合わせて本計画に記載したものです。</p>
2	<p>◆原子力災害対策編</p> <p>各家庭は無理としても、公民館や、小学校～大学に放射線モニターつけてほしいです。 これは甲状腺がん発症など、子どもなど若い方ほど起こる可能性が高いのでぜひお願いしたいです</p>	<p>鳥根県では、原子力災害時に使用するモニタリングポストを公共施設など松江市内87か所に設定しています。これらのモニタリングポストは原子力災害時における防護措置の判断基準となる放射線量を測定するため、地域ごとに一か所以上、かつ5km四方に一か所以上設置されています。このため、現在の設置状況により、防護措置の判断に必要な放射線量の測定は可能であると考えています。</p>
3	<p>◆原子力災害対策編</p> <p>学校、役所、公民館などですぐに安定ヨウ素剤が入るようにしてほしいです。 また、原発周辺はとくに郵送配布を検討頂きたいです。</p>	<p>「松江市地域防災計画」では、国、県、医療機関等と連携して、安定ヨウ素剤の事前配布が必要とされる住民等に対する安定ヨウ素剤の事前配布体制並びに緊急時における安定ヨウ素剤の配布体制を整備することを定めており、原子力発電所からおおむね5km圏内のPAZの住民及び原子力発電所からおおむね5～30km圏内のUPZの事前配布を希望される住民の方に、事前配布を実施しております。</p> <p>また、「松江市原子力災害広域避難計画」において、PAZでは警戒事態から、UPZでは施設敷地緊急事態から各地区のバス避難集合場所である一時集結所で緊急配布を実施することとしております。</p> <p>ご意見の郵送配布については、先行自治体の事例も踏まえ、鳥根県において検討しています。</p> <p>なお、市内学校においては、万が一学校に生徒等が待機している状況下で服用指示が出た場合に備えて、安定ヨウ素剤を備蓄しています。</p>
4	<p>◆原子力災害対策編</p> <p>災害対策などは必ず誰しも関係するので、パブリックコメントの情報を市のインスタやマールで周知してほしいです。</p>	<p>本パブリックコメントの実施については、市報松江、市ホームページにおいて周知を行っています。いただいたご意見を踏まえ、今後はSNS等への掲載を検討してまいります。</p>
5	<p>◆原子力災害対策編</p> <p>大事なパブコメは市の出前研修や、公民館単位での話し合いも一緒にやっていただくと市民を巻き込んで話がで、地域内のつながりにもつながり、災害時などに強みとなると思うがいかがでしょうか。</p>	<p>本市の防災に関する出前講座については、随時受け付けており、ご希望される団体、自治会等にご説明させていただいております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>